



たき
滝

まさ ひろ
勝 弘

録画映像



にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

米海兵隊オスプレイの飛来についての立場は

問 平成31年2月に続いて米海兵隊輸送機オスプレイが、伊勢市の明野駐屯地に飛来している。

2月の飛来時は津市の上空を飛行したが、松阪市長は3月に、常駐化は受け入れられないと議会で答弁している。

今回、三重県と伊勢市は防衛省東海防衛支局に、明野駐屯地でのオスプレイの訓練を常態化しないことを要望した。前業市長も県の要望と同じ考えか。

市民の安全安心のため適時、適切に対応する

答 全国市長会において、オスプレイの安全性については国が責任を持って住民に説明し、飛行訓練については、関係する自治体の意向を十分尊重することなどを求める提言を決定しており、津市も当然同じ立場である。

令和元年12月に実施される自衛隊と米海兵隊の実動訓練でのオスプレイの飛行については、三重県の上空を飛行することになるので、三重県が改めて東海防衛支局に対し、明野駐屯地での訓練を常態化しないようにするなど要請・要望している。

今後も、十分に三重県と県内市町と連携しながら、市民の安全安心のために適時、適切に対応していく。

●その他の質疑・質問●

○今年の一連の台風による、各地の浸水災害などの教訓から

●河川の洪水ハザードマップは活用されているか。地域に浸透しているか

●土のうはどのように提供されるのか

●災害ゴミの処理計画は
●ポンプ場の耐震化の進捗は

○認知症の事故の補償に保険で支援を



▲中ノ川の洪水ハザードマップが年度内に更新・配布される



たけした
竹下

さちこ
幸智子

録画映像



にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

65歳到達以後も障がい福祉サービスの継続を

問 障がい福祉サービスの利用者は、65歳到達時に、原則、介護保険サービスへの移行が優先されるが、厚労省から、一律に介護保険サービスを優先せず、サービスが不十分であれば、適切な運用に努める旨が通知されている。市内でも、障がい福祉サービスを引き続き利用したいとの声を聞く。当人の実態や状況に応じて、より有利な制度を適用すべきと考えるが、どうか。

利用者の状況に応じて柔軟に対応している

答 65歳以上は、原則として介護保険サービスを利用するとされているが、心身の状況や、サービスを必要とする理由は多様であることから、65歳に到達するまでに利用した障がい福祉サービスに相当する介護保険サービスを特定し、一律に介護保険サービスを利用するものとはしないこととされている。

また、サービスの内容や機能から、介護保険サービスには相当するものがない障がい福祉サービス独自のもの（同行援護や就労支援など）については、引き続き、障がい福祉サービスの提供を行うことになっており、この考え方にに基づき、窓口においても適切に対応を行っている。

●その他の質疑・質問●

○自転車道の整備を

●自転車に関する交通事故の防止策と、津駅西口からの自転車専用ゾーンのような先進事例に学ぶ道路拡充と交通安全施策は

○障がい者医療費の窓口無料化を

○ストーマ装具の基準額の引き上げを

○小・中学校へ特別支援教育支援員および臨時講師の増員を



▲誰もが安心して利用できる自転車道の整備を